

福祉

開催日

9月10日
9月17日

給食の提供状況

Q 不登校の児童生徒分も配膳されているのか。また、配膳を中止する時期はどのように把握されているのか。

A 給食の喫食数は、毎月学校からの報告により把握している。不登校の児童生徒については、学校において保護者と面談を実施し、決定している。



Q 学校に行くことが難しい児童生徒が給食だけでも食べることができ対応はされているのか。

A サポートルームでの給食は認めており、子どもたちが教室でお互いにふれあえる時間を作るなど工夫をしている。

こども食堂運営支援事業

Q 市として、現在の運営状況を改善する方向性はあるのか。

A 本市のこども食堂はボランティアにより運営されているため、現状は、月一回開設されているこども食堂が多いが、今後は、継続して開設することによって、こどもが定期的に集まれる居場所づくりを進めていきたい。

介護保険事業特別会計

高齢者在宅支援事業

Q 安心見守りコールの相談内容はどのようなものがあるのか。また、相談や通報があった際の対応はどのようにされるのか。

A 体調不良を訴えるものが多い。通報があった際は、救急要請や登録された協力員へ連絡し、様子を見に行つてもらう等の対応をする。

病院事業債管理事業特別会計

病院事業債貸付事業

Q 貸付事業の内容はどのようなものか。

A 市民病院において眼科診療が開始され、白内障手術が可能となったことから、装置一式を整備したものである。

経済建設

開催日

9月11日
9月18日

ベビー木育ギフト事業

Q 贈呈数が153件の理由は何か。

A 対象者が332名、申込が297名だったが、業者への作成依頼が殺到したため、年度内に発送できなかったのが153件であった。現在は追いついている。



数量調整円滑化事業

Q 米価の高騰等に伴い、政府では方向転換の動きがあるが、市ではどのように考えているのか。

A 方向転換の詳細はまだ通知されていないが、来年1月から2月に各農家へ営農計画を配布する際に、ある程度の方向性が出ていと思うので、農家の意向を踏まえて対応する。

企業立地奨励事業

Q 近隣市町にも同じ事業はあるのか。また、市外から市内に來

れた事業者の件数はどのくらいか。

A 近隣市町でも企業立地奨励金を出している。これまでに26社に奨励金を出した中で、16社が市外の事業者であった。

たつの市PR事業

Q 広告料が前年と比較して倍以上になっている理由は何か。

A 新たに山陽道の吉備サービスエリアと新名神の宝塚北サービスエリアに市のPRパンフレットを配架し、NEXCO西日本に支払いをしたためである。

龍野西一C産業団地調査事業

Q 結果と今後の方向性はどのようなものか。

A 企業立地ニーズ調査で、275社から興味がある旨の回答を得た。開発事業者ニーズ調査では、採算が合えば該当地で事業をしても構わないと8社から回答を得た。今後は結果を基に、他の調査地も調査したい。

下水道事業（企業会計）

Q 下水道事業収益の当初予算額と決算額に乖離がある理由は何か。

A 企業債の償還金減少に伴い、一般会計からの繰入金が増加したためである。